

ピュアフラワー新聞

2015年10月号

— Pure Flower News —

Vol.17

＊ 古くから親しまれる秋の花・リンドウ

今回は、日本の秋を代表する花のひとつでもある「リンドウ」についてご紹介します。リンドウは、本州から四国・九州などの野山に自生する植物です。その可憐な姿、深みのある青紫色は趣深く、古くから日本人の心をとらえてきました。漢字では「竜胆」と書き、その由来は、リンドウの根を乾燥させて作る漢方が「竜の胆のように苦い」ことからきていると言われています。

日本でも古くから親しまれてきたリンドウですが、世界にはリンドウの仲間が約400種類以上も存在しています。今ではカラーバリエーションも増え、青・紫・ピンク・白と多種多様。また、「花が開花するタイプ」「つぼみのまま開花しないタイプ」があるのも特徴的です。

ここではそんなたくさんのリンドウの中から、いくつかの種類をご紹介します。



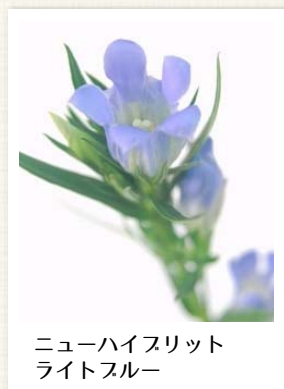
安代の秋



ピンクレディー



花巻ピンク

ニューハイスリット
ライトブルー

ホホワイトハイジ

＊ 今月のワンポイントレッスン

今月のワンポイントレッスンは、今回紹介したリンドウなど、細めの枝ものに効果的な「水折り」についてご説明します。

「水折り」は、茎を水中に浸したまま、ポキッと折る方法です。折ることで茎先がほぐれて断面積がおおきくなり、給水力が高まります。

【1】

ボール、または、ばけつに水をため、茎を水中に浸します。

【2】

根元から少なくとも5cmは上の部分に、両手の親指を立てて折ります。そのまま茎を向こう側に押しつけて折り取り、5秒以上水中に沈めておきます。



リンドウの他にも、キク科の植物・スプレーマム・カーネーション・スプレーカーネーション・トルコギキョウ・マーガレット・ユキヤナギ・こでまりなどにも効果的です。

お手入れのポイント：一度に折れなかったら、ねじってくる



ポキッと一度に折れてなくても、茎に裂け目ができれば大丈夫。そのままひねってねじり切ります。

繊維がささくれていても、それだけ水に接する面積が広く、吸水力も高くなるので、心配する必要はありません。